

<報道機関の皆さまへのお願い>

ルサ相泊地区におけるエゾシカ捕獲の実施について(平成 22 年度冬期)

1. 科学的データの収集と安全確保

シャープシューティングの試行は、新たなエゾシカ対策の手法として、社会的な関心も高いことから積極的に情報公開をしながら進めていくこととしています。しかし、一方で、シャープシューティングの試行では、エゾシカの警戒心を高めないよう人間とエゾシカの間には一定の距離を確保することが必要となり、取材のため多くの方が不定期に立ち入ることは、エゾシカの警戒心に作用し、今回主眼とする科学的データの収集が困難になることが予想されます。また、対象地は道道に隣接した地区であり、報道を見て不特定多数の見物客が訪れた際にも同様の影響が懸念されるほか、銃器の使用を予定しているため、安全な実施にも支障を及ぼす恐れがあります。このため、科学的データ収集及び安全確保の観点から、現地取材にあたっては、一定の制約をお願いせざるを得ないと判断いたしました。つきましては、取材方法(制限)について十分なご理解とご協力をお願いします。以下の行為は、エゾシカに警戒心を与え、科学的データの収集が困難になることが予想されるとともに、安全確保にも支障を及ぼす恐れがあることから、ご遠慮いただくようご協力をお願いします。

取材を目的としてシャープシューティング予定地に立ち入ること

シャープシューティング予定地の位置を詳細に特定できるような報道を行うこと

2. 個人情報の保護

シャープシューティングの試行にあたっては、地元猟友会にもご協力をいただいております。個人情報保護のため、従事者個人が特定できるような映像は撮らないようご配慮願います。

3. 捕獲実施時の取材

1月28日以降の捕獲実施時の取材については、期間中に再度設けることを検討しておりますが、天候及びエゾシカの捕獲状況から代表取材に限定、もしくは実施出来ない場合もありますので、ご了承ください。

<問い合わせ先>

環境省釧路自然環境事務所

統括自然保護企画官 則久 雅司

自然保護官 三宅 悠介

加藤 倫之

(連絡先) 0154-32-7500